数多くの花があるなかでも特に人気なのは、やはりバラ。
バラの世界では日々新しい品種が生み出されるほど、ファンが多い花です。
その美しさと香りはまさに花の中の王道とも言えるでしょう。
今回はイベントにも大活躍するバラについて注目していきます。

用途で違う様々なバラたち

バラは大きく３つの用途別で分類されます。それぞれ違った特徴を持ち品種も異なります。

Florist Rose

（切花用品種）

花持ちが良い・棘が少ない
多様な花形が特徴

Garden Rose

（庭植え用品種）

屋外栽培でも病気に強い
花が散るのが望ましい

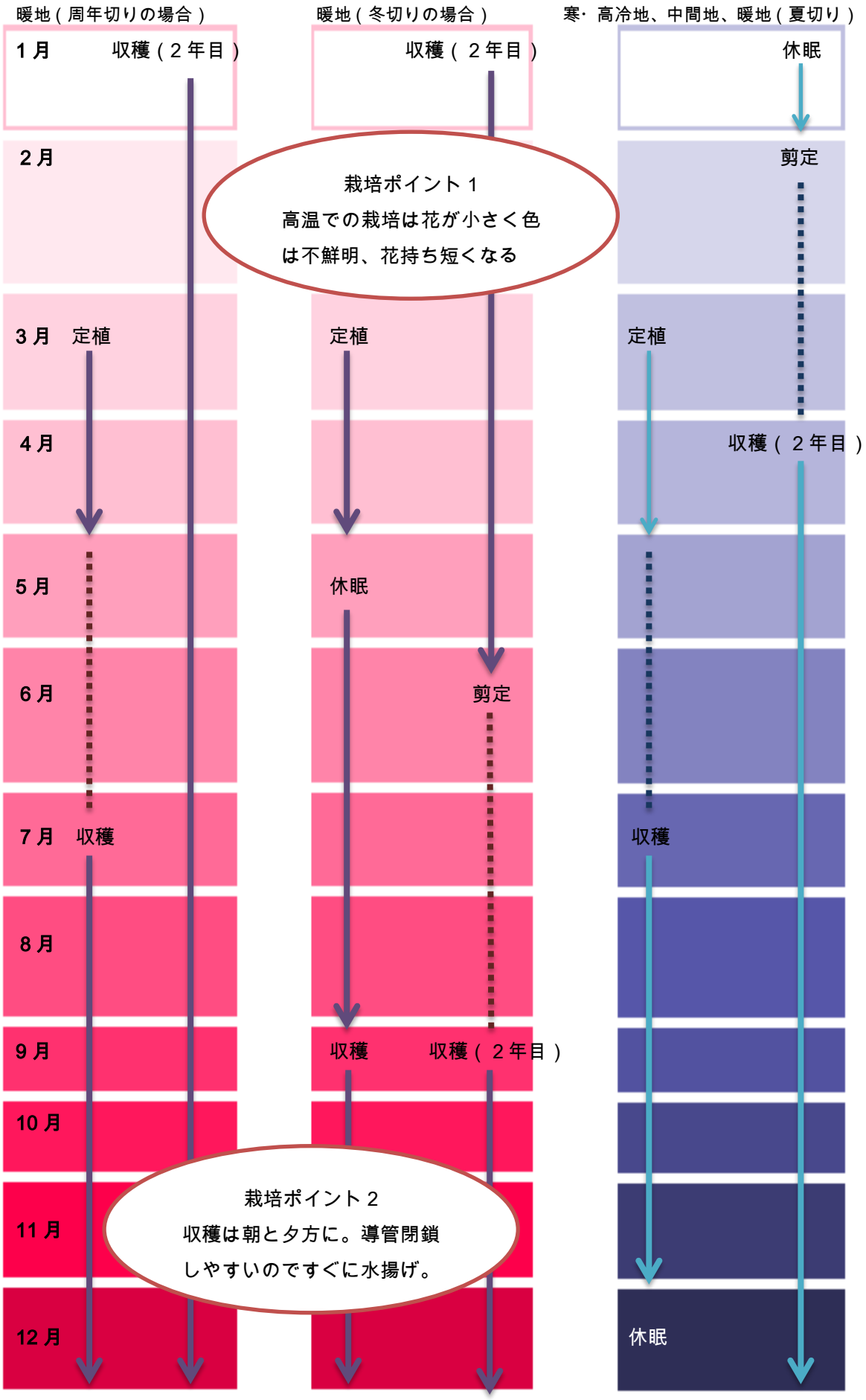
F and G Rose

（ＦＧローズ）

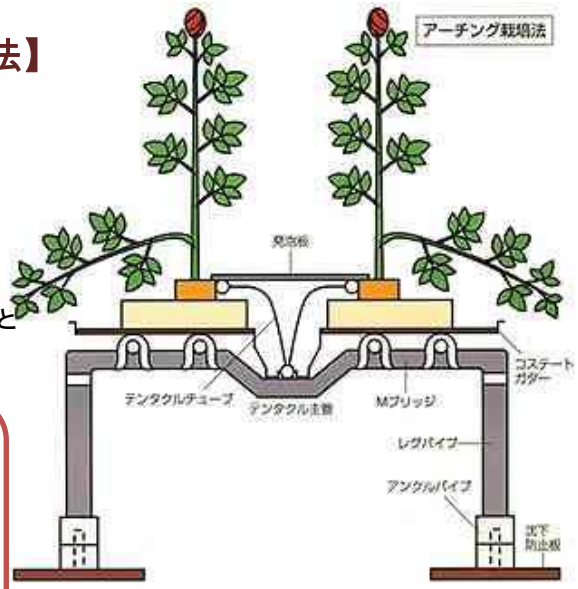
「ＦＧ」の略はそのまま「Florist＆Gardener s」上記２つの特徴を持つ

主な産地：山形・群馬・静岡・愛知・奈良・和歌山・山口・愛媛・大分他

●栽培歴


暖地（周年切りの場合）
暖地（冬切りの場合）
寒・高冷地、中間地、暖地（夏切り）
1月
収穫（２年目）
収穫（２年目）
休眠
2月
剪定
栽培ポイント１
高温での栽培は花が小さく色は不鮮明、花持ち短くなる
3月
定植
定植
定植
4月
収穫（２年目）
5月
休眠
6月
剪定
7月
収穫
収穫
8月
9月
収穫
収穫（２年目）
10月
11月
栽培ポイント２
収穫は朝と夕方に。導管閉鎖しやすいのですぐに水揚げ。
12月
休眠

●栽培方法の一例　【アーチング栽培方法】



定植後しばらくの間、発生する枝を全て斜め下方へ折り曲げます。これらの枝から光合成産物が生まれ、株全体に供給・蓄積される仕組みです。
株が充実すると根元から発生するベーサルシュートを切り花として連続して収穫。根元に光が十分に当たるとたくましい新梢が発生します。

他にもハイラック栽培方法、切り上げ栽培方法、ベンディング栽培方法、レベリング栽培方法、折衷栽培方法などバラは多様な仕立て方があります！！

What's? バラのベーサルシュート

地際部から発生する勢いのある枝をベーサルシュートと呼びます。対して古い枝の途中から新たに発生する枝をサイドシュートと呼びます。ベーサルシュートを数回ピンチして葉数を確保し、分枝を増やして採花母枝として利用します。
したがって切り花の収穫本数はベーサルシュートの発生数によって変わってきます。
ベーサルシュートは一般的に樹齢が若いほど発生が多く、年数が立つほど発生しにくくなると言われており、春に一番多く発生します。

重要なハウス内の環境～光・温度湿度の管理～

遮光などで光量が低下すると、光量の減少に比例してブラインド率が増加します。よって補光はブラインド減少に大きな効果があります。
（日長はブラインドの発生に影響は与えません）　また気温・地温ともに低下してもブラインドの発生を助長するので注意が必要です。
これは根で作られる成長調節物質の減少のためであると考えられています。

What's? バラのブラインド枝

通常の開花枝に比べて遅れて分化し、花弁分化の段階で発育が止まってしまう枝のこと。
ブラインド枝は低光量にて多く発生し、開花枝に比べて茎が短く、葉数（節数）が少ないことが特徴です。春や夏にも発生しますが、特に冬に多く見られます。
現在用いられている品種の多くは、発育不全をあまり起こさないものが選ばれています。

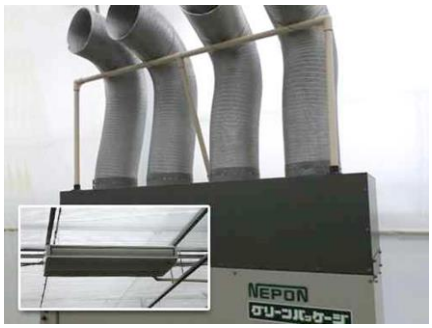
なかには…分化した花芽がそのまま発育して奇形花となる場合

ブルヘッド（雌牛の頭を連想することから）と呼ばれ、花の中にさらに花芽を形成します。ちなみに画像はエキサイティングメイアン、形状は似ていますがこちらは奇形花ではなくれっきとした貴生花です。

バラ栽培は以上のことからも光や温度、土壌水分等の環境条件の管理が非常に重要となります。

美しいバラを消費者様までお届けするために…生産地ではハウス内の環境を整えるため
様々な対策をしてらっしゃいます。

ヒートポンプ…病気抑制･ 花ボリュームの確保･ 温室効果ガス削減効果



細霧冷房…水の細霧を気化させて湿度管理と空気冷却･ 光合成促進

循環扇…温度湿度のムラをなくす。病害･ 害虫の発生抑制

除湿器…湿度制御することでべと病や灰色カビ病の抑制へ

高圧ナトリウムランプ…光量不足の際に日射量を上昇、光合成促進

炭酸ガス発生装置…光合成のための CO2 の供給

※なお輸送温度は、高温期で 10～15℃程度、他時期は 5～10℃程度が適当とされています。

●花持ち試験　結果（試験室にて平均温度 25℃湿度 60％　どちらも栄養剤と水で試験）

	平均日持ち日数	
品種	オールフォーラブ	レッドエレガンス
水	6.4日	9.4日
栄養剤	7日	10日

1.オールフォーラブ

栄養剤

水

今回の試験では栄養剤使用のものの平均日持ち日数は 7 日と水より長く楽しむことが出来ました。香りは 2-3 日目がピークで試験室に香りが充満しました。

栄養剤試験区 5 個体のうち 1 個体に病害が発生し 5 日目に花散しましたが、他 4 個体は最後まで咲き切りました。4 日目を経過したあたりから水区分はブルーイングが顕著に見られました。また水区分 5 個体分のうち 2 個体は開花し切らずに花持ちが終了しました。加えて日持ち終了時には首から垂れてしまうベントネックの状態のものも見られました。

2.レッドエレガンス

栄養剤　　水

レッドエレガンスの場合、展開具合に差が見られました。上の画像の通り、栄養剤区分は全て 4 日目 ~8 日かけてゆっくりと咲き進みました。それに比べて水区分は 5 個体中 1 つを除いた全てにおいて、あまり展開せずに 10 日目を迎えそのまま褐変またはブルーイングにて日持ち終了するものが多く見られました。またブルーイングにおいてはオールフォーラブよりはあまり目立ちませんでした。

●管理方法と花もちのポイント

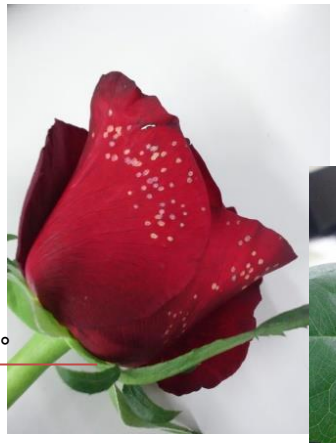
葉はある程度取り除きましょう

多く残しておくと蒸散過多になり水揚げを阻害します。
また低湿度条件下でも蒸散による水分の損失が著しいので、
湿度は高めが望ましいです。ベントネック防止にもつながります。

必ず栄養剤・抗菌剤を使いましょう

上の試験でも見られましたが、水に生けただけでは糖質の不足
により花弁細胞内のpHが上昇し、ブルーイングの進行が早まります。
大きく開かせるためにもぜひ使用してください。
また生け水の中に細菌がいると導管が閉塞してしまい
花持ち日数が短縮してしまうので水替えはこまめに行いましょう。
ただし、どちらも濃度が濃いと葉に薬害が起こりやすくなります。
希釈は必ず守りましょう！！

●注意すべき病害



・灰色カビ病（発生期 4-7 月・10-11 月）
花弁の斑点からやがて花しみになる。低温多湿を
好む。特に花弁がかさなり合う部分やガクの部分に
近いところに出やすい。箱内部では四隅と中心部
（密集して湿度がたまりやすい）に多く見られます。

・うどんこ病（発生期 5-7 月・9-10 月）
葉の表皮にうどん粉がついたように白くなる。（※白く見えるのは胞子）
次第に拡大して全体を覆うようになります。光合成が阻害され
成長不良になり、ひどい場合は枯死してしまいます。

バラの花は特別な瞬間に贈られることが多い花ですが、一番身近で親しみのある花でもあります。
人生の中で何か節目を迎えるときに、そこにバラの花があるかもしれません。
いつも通りの日常でも、バラの花が一輪あれば、それはそれで幸せな日常になります。
生産者様が丁寧に育てられたバラは、その一瞬に向かって輝きます。
こちらでご紹介したバラの世界はまだまだほんの一部です。
「バラのそこが知りたい！第二弾」もぜひお楽しみに！！

参考文献・写真提供：「切り花の品質保持」市村一雄
「お花屋さんマニュアル 2012-2013」日本フローラルマーケティング協会
アキバナーセリー様 HP　http://www.akiba-n.com/system.html
農業技術大系　第 7 巻　　植物病原菌類の見分け方　堀江博道著
宇田明　桐生進著　「花屋さんが知っておきたい花の小事典」